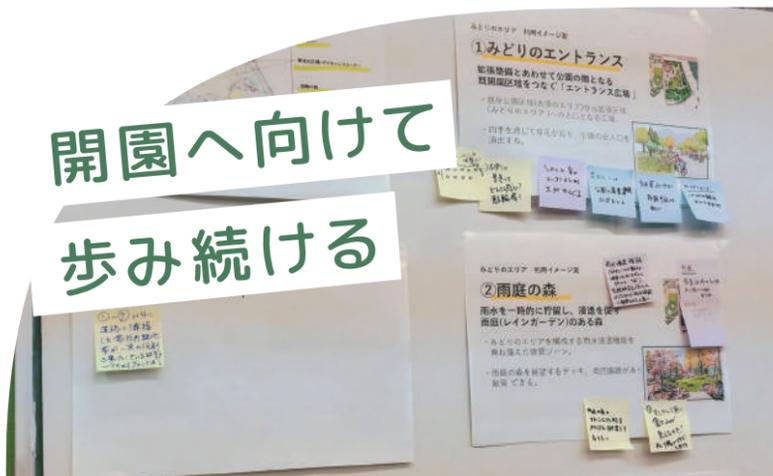


# 第13号 パークらぼ通信

公園拡張をきっかけとしたみんなで進める公園づくり



## 玉川野毛町公園拡張区域「みどりのエリア」の利用・運営がまとまりました。

昨年度までは、デザインDAYを開催し、玉川野毛町公園拡張区域の風景や施設についてのデザインを検討してきました。今年度は、3回のデザインDAYで、公園の施設プランに即した利用方法やルールについて皆さんと考えました。公園それぞれのゾーンにおける利用ルールや共通する考えなど、利用者の視点を大切にしながら、みなさんと考えたいことがあったからです。

令和7年度デザインDAY1では「みどりのエリア」の利用イメージを考え、デザインDAY2では「拠点施設」の利用イメージを検討しました。多岐に渡る意見と利用イメージが出てきたことから、デザインDAY3では具体的な公園利用の一日をイメージしながら、利用者視点からの施設の活用を深めることができました。

→詳しくは、2ページからのまとめをご覧ください。



## 令和8年(2026年)7月下旬に開園する予定です。

建築工事の入札不調に伴い、開園時期が遅れておりますが、7月下旬に開園できる見込みとなりました。

令和8年4月からは、みどりのエリア全体を工事区域に組み入れ、工事の最終段階に入ります。そのため、4月から開園までの間は、アクティブDAYなどの予定地開放は行えなくなります。その間も区民との協働による公園づくりの取り組みを継続し、開園へ向けての準備を行います。

草地の広場や協働の森など、デザインDAYで検討してきた公園利用の実現へ向けて、区民の会の皆さんと共に、区民協働の管理運営に取り組んでいきます。話し合いの機会や現地での準備作業など、ご協力をお願いします。



# 「みどりのエリア」の公園利用プラン

11/8(土) 第20回デザインDAY (①公園全体の利用イメージ) のふりかえり

第20回デザインDAYでは、みどりのエリアの各ゾーンの利用イメージを確認し、それぞれのゾーンでやってみたいことや、気になることを話し合いました。その話し合いをもとに、みなさんと公園の利用プランをまとめました。今後、より具体的に検討していくこともありますので、引き続き皆さんと考えていきます。

## 周辺樹林帯

みどりのゾーンの外縁を構成する樹林

- 公園と隣接居住地との緩衝、みどりの修景を図る樹林です。
- 常緑と落葉樹など樹木のバランスを考えながら、公園樹木として植栽管理を行います。

## ナーセリー ▶ 野毛町ベース

公園の管理運営に必要な機材や道具を収納する倉庫棟。区民との公園管理の作業場となるスペース

- 区民による公園管理活動の資材や道具を置く倉庫です。
- 倉庫前のスペースは、区民の共同作業の場として活用します。
- 公園管理運営に必要な資材やアイテムを工作するイベントなども実施します。

## みどりのエントランス

拡張整備とあわせて公園の顔となる既開園区域をつなぐ「エントランス広場」

- 既存公園区域(古墳のエリア)から拡張区域(みどりのエリア)の入口となる広場です。
- 広場には、四季を通じて草花が彩り、みどりのエリアの出入口を演出します。
- その植栽帯には、区民の手づくりの花と野菜の花壇があり、収穫をみんなで楽しめます。加えて、コンポスト堆肥作りなど、地域循環型のみどりづくりの取り組みを行います。

## 雨庭の森

雨水を一時的に貯留し、浸透を促す雨庭(レインガーデン)のある森

- 雨水浸透機能を兼ね備えたみどりのエリアを構成する修景ゾーンのひとつです。
- 植生保全のために植栽帯の中には入れませんが、ゾーンの中心には雨庭の森を望むデッキと周回園路があり散策できます。
- 寄附いただいた石材と多様な植物を活かし、雨庭の機能を保つ植栽管理を行います。

## バックヤード

玉川地域の公園等で排出されるごみや落ち葉などの集積場所

- 古墳のエリアにあった集積施設を移転させたバックヤードで、区の管理エリアです。
- 落ち葉や伐採材などのリサイクルを考え、資源としての活用を進めていきます。
- ごみ集積所の他に、広域防災倉庫を設置し、地域の防災機能を高めています。

## 拠点施設 ▶

玉川野毛町公園  
パークデザインセンター

- 詳しくはP4-5をご覧ください

## デイキャンプコーナー ▶ 子どもの野外体験コーナー

子どもたちの野外活動を練習するための施設

- 古墳のエリアにあった子どもたちが飯盒炊飯などの野外活動を練習できる施設です。
- グループでの利用を想定し、大人だけの利用や飲酒は禁止です。
- 煙など近隣住宅への配慮や防災の観点も取り入れた運用を考慮するため、具体的な運用方法については試行を踏まえて検討していきます。

## 草地の広場

樹木や地形が形づくり、多様な区民活動を支える草地の広場

- みどりのエリアの中央の、パークデザインセンター(拠点施設)の前に広がる草地の広場です。
- 草地でのんびりピクニックでき、木々の木陰で休めるようなスペースとして利用します。
- 草丈の刈込み高さを変えるなど、生物の住処にもなるような草地の管理を行います。
- 公園の中央にある緑の広場として、区民主体の公園活用イベントなどが催されます。

## 協働の森

既存の樹木を活かし、生きものの拠点となる「濃いみどり」の森

- みどりのゾーンを構成する生きものの生息環境となる樹林のゾーンです。
- 区民の手で樹木を育て、濃淡のある樹木環境の管理をめざします。
- 森の外周に柵は設けずに、自然的環境の保全・創出、観察の場となる森に育てます。
- 森林浴や自然観察の他に、小枝や落ち葉の活用、教育機関との連携による環境保全など、協働しながら森づくりに取り組みます。

※「みどりのエリア」では、自転車の押し歩きをお願いします(自転車は駐車場へ置いてください。)

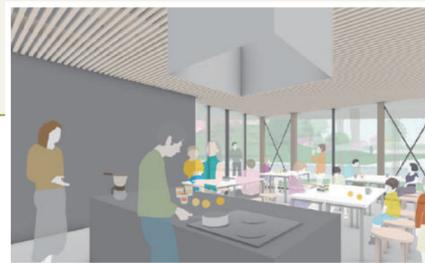
# パークデザインセンターの利用プラン

12/13(土) 第21回デザインDAY(②拠点施設の利用イメージ)の振り返り

第21回デザインDAYでは、みどりのゾーンの建物(拠点施設)の各部屋の利用イメージや、ネーミングについて話し合い、みなさんと拠点施設の利用プランをまとめました。みなさんからの提案を受け拠点施設の名称(パークデザインセンター)や各部屋の名前をつけました!

## 多目的施設 ▶ ふれあいスタジオ

- 授乳室の隣にある靴を脱いで入る部屋で、室内にはミニキッチンがあり、調理体験できる場所として活用します。
- 日常は、幼児と来園した保護者とがゆっくりと休憩できるスペースで、ゆずりあって使用し、飲食もできます。床マットの室内には、小さなテーブルに加え、絵本や生き物のケース展示など、幼児が自然的環境に興味を持ってもらえる休憩スペースです。
- 週末には、ミニキッチンを活用した区民協働イベントなどが開催され、公園の美りを活かしたり、防災といった活動テーマを体験できます。体験イベントは、区民活動、公園利活用イベント、公園管理運営に連携した地域イベント、区主催イベントなどを想定しています。



## 展示スペース (ウェルカムコーナー内)

- パークらぼ活動で検討した多機能什器(椅子や机など)を用いて、公園の様子や区民管理活動を紹介する展示があり、来園者が公園に親しみを持ってもらうよう工夫します。
- 来園者が本や資料を読むための椅子があり、子どもがゆっくりと絵本を読むこともできる空間もある。
- 地形模型や歴史文化のパネルを展示します。

## ロビー ▶ ウェルカムコーナー

- 出入口には、わかりやすい案内サインや区民活動の紹介イラストを掲示するなど、親しみを感じるよう工夫します。
- 常駐スタッフは、公園利用案内や見回り、区民グループの活動を支援するなど、区民利用者とコミュニケーションを図りながら、年間を通じ、安全で快適な公園管理運営を行っています。
- ロビー窓口には、公園のイベント予定や地域の情報が展示され、来園者が立ち寄り、常駐スタッフとも情報を交換できます。
- ロビー窓口では、公園内で使用できる物品の貸出や、園内施設の利用受付も行います。



## 拠点施設 ▶ パークデザインセンター

- 公園運営事業者が常駐し、公園の利用案内やマナー啓発など公園運営の拠点となる施設及び区民活動(らぼプロジェクト活動)の拠点となる施設。
- 施設内には休憩スペースがあり、軽飲食の提供サービスもあります。
- 館内には、公園利用者が休憩スペースや、軽飲食ブースなど公園利用や活動を促進する機能があり、催しや学習会ができる部屋(パークホールやふれあいスタジオ)では、公園運営事業者や区民主体などによる園利活用のイベントが開催されています。
- 区民活動の成果や自然環境・歴史公園づくりの方針である「みどり・みず、歴史・文化、安全安心」をテーマとした解説が展示され、来園者が公園への理解や親しみを感じるよう工夫しているなど、公園利用の幅を広げる建物施設として管理運営します。

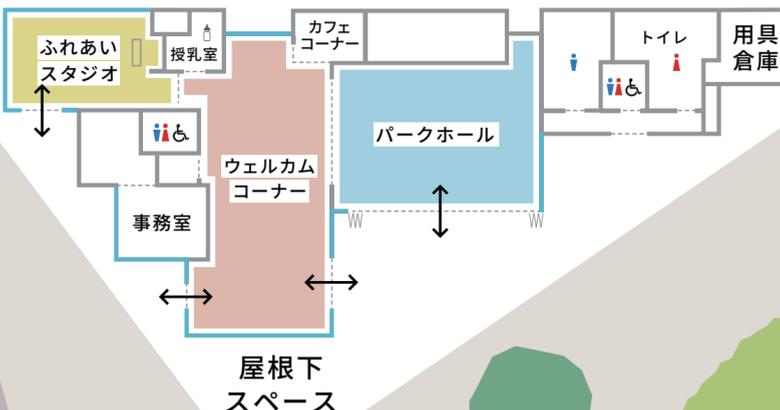
運営日時:毎日(年末年始を除く)午前8時30分~午後5時まで ※ペットとの利用は不可(盲導犬除く)



## カフェコーナー

- ロビー奥のカフェコーナーでは、出店希望者による軽飲食が日によって販売提供され、イスやテーブルで飲食できます。

## パークデザインセンター 平面図



## 体験学習室 ▶ パークホール

- 日常は、来園者が椅子に座って休憩できるスペースで、机には工作キットが置いてあり自由に体験できます。また、児童の環境学習会など、講義が受けられる場としても活用します。
- カーペットやイスを用いて、幼児や保護者が安心して利用し、交流できる場を作ります。
- 区民協働イベントなどが開催され、多くの人が様々な体験をできるスペースとして活用します。イベントは、区民活動、公園利活用イベント、公園管理運営に連携した地域イベント、区主催イベントなどを想定します。
- 公園管理活動グループの打合せの場としても利用します。



## 屋根下スペース

- 大きな屋根のある半屋外のスペース。暑い夏の日差しを避けられ、雨の日にも活用することができます。
- ロビー、体験学習室との連続性があり、休憩スペースのほか、区民活動やイベントで一体的な利用もできます。



## 用具倉庫

- ロビー窓口で貸し出しを行う貸出用物品の他に、区民活動、区民協働イベント、公園管理運営に連携した地域イベント、区主催イベントの際に屋外で使用する長机、椅子を収納します。
- 災害時に使用する発電機も収納されています。



2月7日

# 区民の会デザインDAY

## 振り返り会レポート



2月7日(土)、野毛青少年交流センターにて、玉川野毛町パークらぼ区民の会の振り返り会を開催し、今年度3回実施した「デザインDAY」を改めて振り返り、開園に向けて整理しておくべきこと、そしてこれから区民のみなさんと一緒に考えていくことを確認しました。今年度実施してきたデザインDAYを振り返りながら、開園に向けて「何を今決めるのか」「何をやりながら考えるのか」を整理しました。

### 参加者の紹介



牟田さん(生きもの調査チーム)

『誰かと交流したい人も、一人で静かに過ごしたい人、どちらの人にとっても居心地のいい公園であってほしい』

上杉さん(どんぐりプロジェクト)

『協働の森でコナラ周辺のお手入れをしているが、パークらぼの活動だけが特別扱いに見えないように気をつけていきたい』



めぐさん(キッズチーム)

『ヨガやおそとあそびのポスターを見て新たに参加してくれた人もいるみたい。"外向きの情報"を発信して、新しい仲間を増やせるといい』



### 今年度デザインDAYで 出た意見

今年度は、主に次の3つのテーマで対話を重ね、多様な意見が出ました。

- 公園全体の利用イメージ(24件)
- 拠点施設の利用イメージ(65件)
- 開園後の1日を想像した意見(74件)

合計160件以上の意見が出ました。

内容は、空間の使い方から、管理、掲示板、シェアキッチン、デイキャンプ、犬のマナー、草の管理、コミュニティ形成まで多岐にわたります。今回は、それらの付箋を改めて壁に貼り出し、時間軸で整理しました。

### まず整理したこと

振り返りを通じて、検討事項を次の2つに整理しました。

- すでに方針が決まっていること／自由利用の範囲でできること／区や中間支援組織と確認が必要なこと
- まだ方針が決まっておらず、区民のみなさんと一緒に話し合っていくこと

その上で、今回の振り返り会では、その意見を貼り出し、時間軸(いつやることか)で整理しました。

- 開園前に整えること
- 開園してからやってみて考えること
- もう少し先の未来として育てること

以下で、出てきた意見の一部を紹介します。



### 1 開園前に整えること

- ウェルカムガーデンの基本方針(花・ハーブ柑橘・野菜エリア)
- 掲示板の編集体制と運用ルールの方向性
- デイキャンプ場の運用方法
- 犬の利用マナーの啓蒙方法

ここでは、細部まで決め切るのではなく、混乱なく開園できる状態をつくることを優先しました。

### 3 もう少し先の 未来として育てること

- 公園の"らしさ"づくり
- リピーターを増やす工夫
- 地域との連携イベント
- 公園の文化や呼び名の定着
- 継続的なイベント展開

これらは、開園後の積み重ねの中で見えてくるものです。焦らず、しかし意識しながら育てていく領域としました。

### 2 開園してから やってみて考えること

- 草の管理のバランス(業者と区民活動)
- 掲示板がどのように使われるか
- シェアキッチンの利用ニーズ

これらは、開園後に状況を見ながら調整していくことにしました。想定と現実異なる可能性があります。そのため、ここは実践 → 振り返り → 改善のサイクルで育てていきます。

### 4 議論から 見えてきたこと

整理してみると、「すべてを開園前に決める必要はない」ということが見えてきました。

むしろ重要なのは、

- 今、決めるべきこと
  - あえて決めすぎないこと
  - 実践に委ねること
- を分けることです。

開園は完成ではなく、スタート。デザインDAYで出た多くの意見は、「種」として残り、これからの運営の中で芽吹いていきます。パークらぼらしい「対話と実践の積み重ね」を、開園後も続けていきたいと思えます。

### 公園のカタチ

#### 「便益・サービスの拠点となる施設」の意見聴取アンケートを行います。

公園の既存区域<古墳のエリア>では「便益・サービスの拠点となる施設」を整備する民間事業者を公募しています。

本公募は老朽化した公園管理事務所と屋外トイレを事業者が新しく建てていただき、その周辺に飲食店などの収益施設を建ててもらうことで、収益の一部を区の施設の建築費等に充ててもらおうという内容で、令和7年10月から公募を開始しています。そして、令和8年3月1日(日)から3月22日(日)の間、区HPにて、民間事業者の提案計画に対する意見聴取アンケートを行います。

ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください。ご協力をよろしくお願いいたします。提案内容の閲覧とアンケート回答は右下の二次元コードから可能です。(アンケートは区のHPから遷移し、別ページからの回答となります。)



二次元コード



# 令和7年度の主な取り組みと今後の予定



これまで、長い時間をかけて、多くの方々との話し合いと協力をいただきながら、様々なアイデアが生まれ、少しずつ形になってきています。今回の通信では、デザインDAYでの成果を中心に、これまでの取り組みと今後の予定をお伝えいたします。

終了

令和7年  
11月8日(土)

みなさんと公園のデザインを考える 第20回デザインDAY「①公園について」  
「みどりのエリア」の利用イメージを考えました →詳しくは P2・3



終了

令和7年  
12月13日(土)

みなさんと公園のデザインを考える 第21回デザインDAY「②施設について」  
「拠点施設」の利用イメージを考えました →詳しくは P4・5



終了

令和8年  
1月31日(土)

みなさんと公園のデザインを考える 第22回デザインDAY「③開園について」  
具体的な公園利用の一日をイメージしました →詳しくは P6・7



## 区民との協働しながらの開園準備

「みどりのエリア」開園に向けて、多くの人たちと考え、動きながら準備を進めます。



令和8年  
7月下旬

玉川野毛町公園拡張区域「みどりのエリア」開園！！



### パークらぼメンバー募集



パークらぼでは、常時メールマガジンでの情報を希望者にお届けしています。配信をご希望の方は、玉川野毛町パークらぼ事務局までご一報ください。

パークらぼメンバーへの参加は、右の二次元コードよりお申し込みください。

二次元コード



参加申し込み

### 【パークらぼに関する問合せ】

(株)自然教育研究センター  
(玉川野毛町パークらぼ区民活動サポート・日常管理 / 中間支援業務)  
メール: parklab@nogemachi-parklab.com



ホームページ



Instagram

### 【発行者】

世田谷区みどり33推進担当部公園緑地課 玉川公園管理事務所 電話: 03-3704-4972

www.nogemachi-parklab.com

Instagram icon: nogemachi\_parklab